



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	汐見台小学校	階数	地上3F
建設地	横浜市磯子区汐見台3丁目6番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	900人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,800時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2021年9月30日
敷地面積	23,130 m ²	作成者	飯田善彦
建築面積	4,772 m ²	確認日	
延床面積	8,644 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 85%
③上記+②以外の 85%
④上記+ 85%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.3

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
既存地形を活かす配置計画によりLCCO ₂ 低減と豊かな学校空間をつくる計画。建物高さを出来る限り低層に抑えることにより、周辺に対しても良好な環境をつくることを意図した。	0	
Q1 室内環境 主要な居室は南向採光とし、廊下や階段室を介した風通しに配慮した室内環境を実現する。	Q2 サービス性能 単純な電気幹線ルート、給排水経路の設定により、更新性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木を極力残すこと、新たな地域に根差した樹種を中心とした植栽を行うことにより、近傍の大規模な公園など周辺環境と生態系をつなぎ持続可能な環境を形成する。
LR1 エネルギー 省エネ空調機器の導入や、夏季の日射遮蔽、冬季のダイレクトゲインを両立する断面形状、自然換気を促す断面形状等により、自然エネルギーを積極的に活用する。	LR2 資源・マテリアル 躯体や仕上材に再生材を積極的に活用する。躯体のPC化を検討し、建設に係る仮設部材を削減する。	LR3 敷地外環境 周辺に対して十分に距離をとる配置計画と、敷地全体に配する植栽により周辺に対して良好な環境を形成する。プールや屋内運動場など音が発生しやすい場所に対しては、列植した植栽帯や斜面により周辺に対して音が伝わりにくい環境形成を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

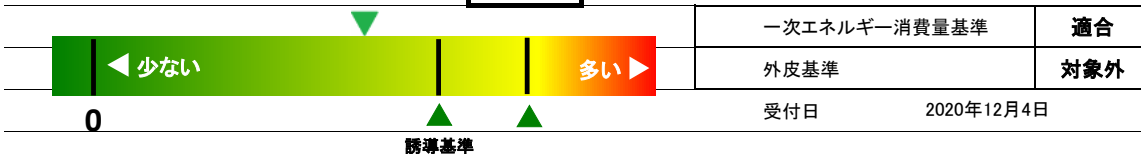
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 汐見台小学校

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 37 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

小学校建築でありながら、中断熱およびペアガラスを導入し外皮性能を向上させる計画とした。

教室には十分なバルコニーを配置することで、明るさを確保すること、冬季のダイレクトゲインを両立する計画とした。

省エネ機器を積極的に導入し、効率化を図る計画とした。

夏季冬季の空調運転に加え、中間期には積極的に自然通風ができる窓形式を採用した。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 4

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

主要な居室は南面採光とし、廊下や階段室を介した風通しに配慮した室内環境を実現する。

断熱化、ペアガラスを導入し、熱環境に配慮した計画とする。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

中庭を囲む回廊型の平面計画とすることにより、バリアフリー化と多様な学習方法に応じた使い方を可能とする。

廊下や図書室等の共用部を開放的な構成とし、様々なアクティビティが知的好奇心を誘発する施設構成を目指した。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

既存樹木を極力残し、緑被率を高めることにより温熱環境向上を図る。

舗装範囲を最小限とすること、卓越風に対し建物見つけ面積を小さくすることにより、風の通り道の確保、地表面温度抑制に配慮。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

耐震性能は、基準の校舎棟について基準の1.25倍、体育館について基準の1.5倍として安全性を高めるように配慮した。

室内仕上げは更新頻度が20年以上のものを中心に選定し、耐用年数向上に配慮した。

設備配管は棟別に独立したルート設定とすることにより、信頼性向上に配慮した。

非常用の電話回線を整備し、災害時にも連絡が取れるように配慮した。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

既存の樹木を極力保存し、地域の生態系の持続をめざした。

地形を活かした断面計画により、全体高さを抑え、周辺環境へ圧迫感が生まれないように配慮した。

既存建物の分棟型配置がもつ適切なスケール間を引き継ぐ分節型の外観意匠計画とし景観の維持に配慮した

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

汐見台小学校

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 屋光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 2-112



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 汐見台小学校

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		4.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7
汐見台小学校

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		4.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.7	0.50	-	-	4.7		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5		
2.1 材料使用量の削減				4.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.20	-	-	4.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				5.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0		
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6		
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	2.5		
2.1 大気汚染防止				1.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-		
2 振動				3.0	0.33	-	-	-		
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.60	-	-	-		
2 砂塵の抑制				3.0	0.20	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.20	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目				-	-	-	-	-		
<事務用途>				-	-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑭健康対策		-	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑮防犯対策		-	-	-	-	-		